

大田市

地震防災マップ

西部版
ゆれやすさマップ

このマップは、大規模地震が発生した場合の「ゆれやすさ(震度)」について理解を深めていただくことにより、住宅の耐震診断や改修などの地震対策に備えていただくものです。「ゆれやすさマップの活用方法」をご覧いただき、ご活用ください。

ゆれやすさマップについて

解説：ゆれやすさマップは、大田市西南方の地震、浜田市沖合の地震、全国どこでも起こりうる直下の地震、の3つの地震の予測震度を重ね合わせ、最大となる震度を示したもの。ゆれやすさの特徴：重ね合わせた結果、大田市西南方の地震とどこでも起こりうる直下の地震の震度が最大となる地域が多い。また、地盤の良い地域では、震度5強が予測され、一部では震度7に達する地域もあります。

ゆれやすさマップの活用方法

その1：マップを見て、自分の家が建っている地盤のゆれやすさをチェックしましょう。その2：避難経路や避難所を確認し、家族・地域で安否確認の方法などについて話し合っておきましょう。

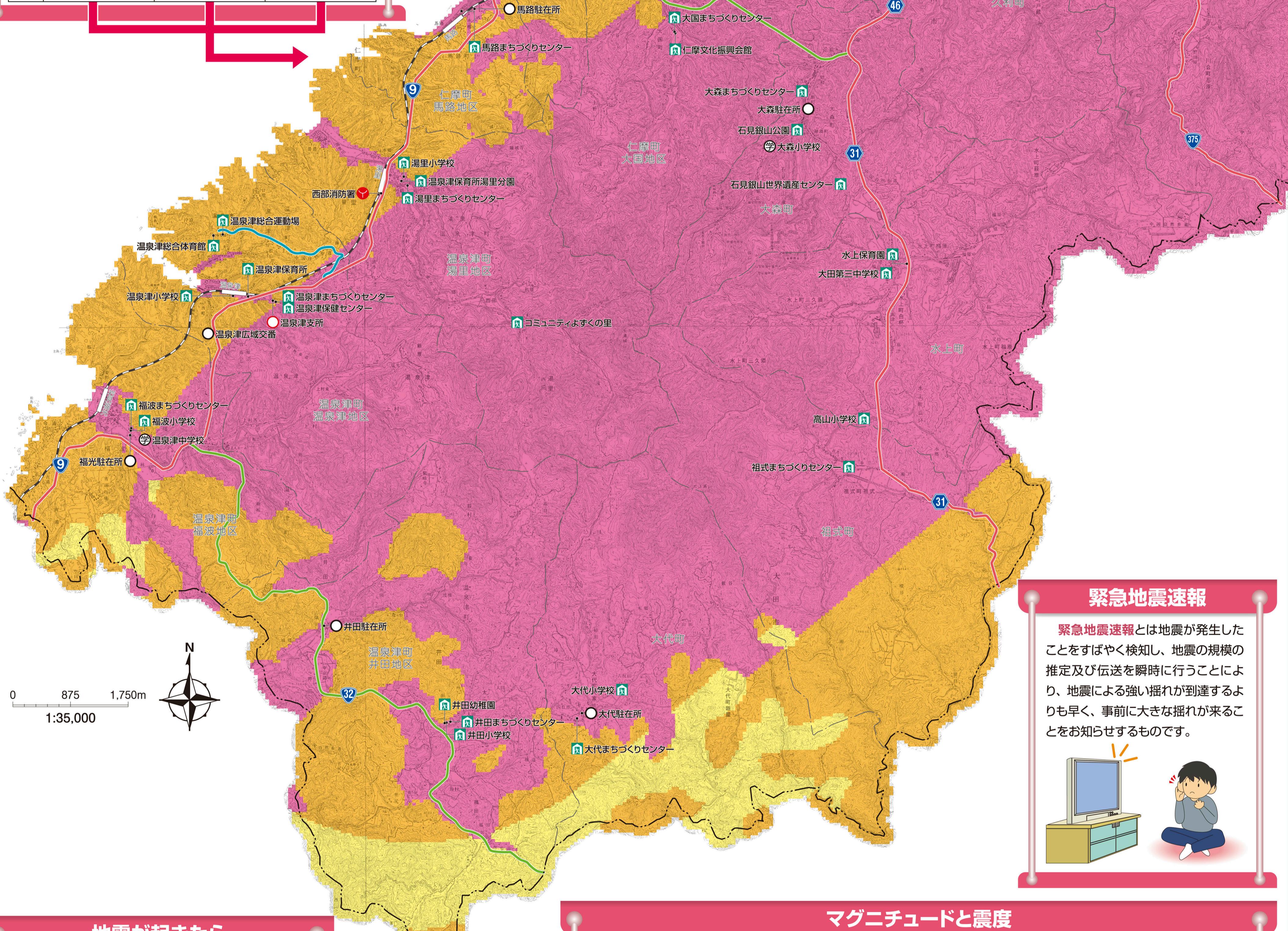
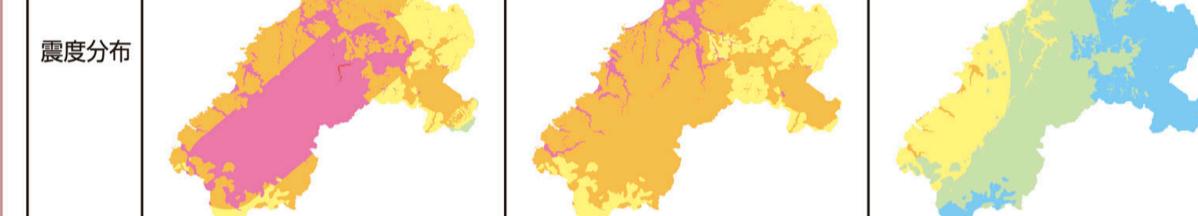
ゆれやすさマップの作成方法

このマップの作成にあたっては、おおよそ次のような手順で、震度(ゆれの大きさ)を予測しています。

設定 大田市域に影響の大きいと考えられる地震を選び、震源となる断層の規模や位置、形状などの情報を設定します。

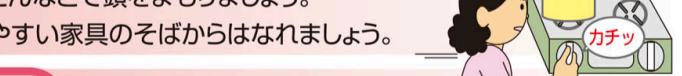
計算 それぞれの地震について、規模や震源となる断層までの距離とゆれの強さの関係があることを用いて、「地表面付近の揺れの大きさ」を計算します。

想定地震	大田市西南方の地震	全国どこでも起こりうる直下の地震	浜田市沖合の地震
地盤の概要	大田市西南方の地震は、大田市中央部から西方に約20kmの複数の断層が存在する可能性があります。この断層は、大森・三子山断層付近を根拠にしたもので、マグニチュード7.0の規模とされています。	全国どこでも起こりうる直下の地震は、浜田市沖合に海底と平行に約23kmの長さで延びる断層が動くことがあります。そこで、大田市以下の仮想断層が動くことを想定しています。この断層は、明治時代に発生した浜田地震を根拠にしたもので、マグニチュード6.9の規模とされています。	浜田市沖合の地震は、浜田市沖合に海岸と平行に約23kmの長さで延びる断層が動くことを想定しています。この断層は、明治時代に発生した浜田地震を根拠にしたもので、マグニチュード7.1の規模とされています。
想定期間	7.0	6.9	7.1
大田市で想定される震度	震度5弱～震度7	震度5強～震度6強	震度4以下～震度6弱



地震が起きたら

自分の身をまもりましょう 家の中では、テーブルの下にもぐり、ざぶとんなどで頭をまもりましょう。倒れやすい家具のそばからはなれましょう。



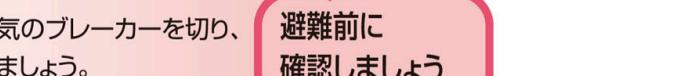
火を消しましょう 地震後の火災を防ぐために火を消しましょう。



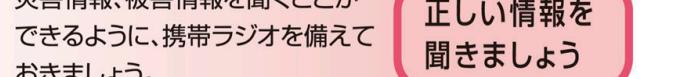
窓をあけましょう 地震で建物がゆがむ、戸があかなくなります。逃げ道を確保するために戸や窓を開けましょう。



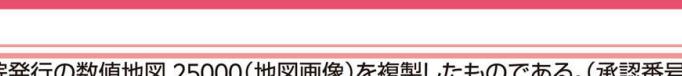
家族の安否が確認できたら、となり近所の人の安全も確認して助け合いましょう。



避難する前に電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めましょう。



災害情報、被害情報を聞くことができるよう、携帯ラジオを備えておきましょう。



正しい情報を聞きましょう

地震が起きたとき、その地震の規模を示す言葉が「マグニチュード」です。これに対し、ある場所でのゆれの程度を示すのが「震度」です。震度の決め方は国によって異なり、わが国では気象庁が定めた震度階級によって震度を表しています。

マグニチュードと震度



お問い合わせ先

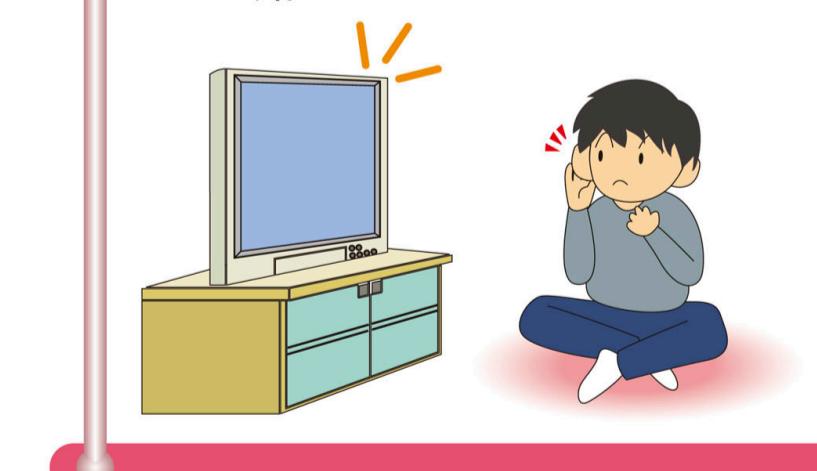
大田市建設部都市計画課
〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地
TEL 0854-82-1600 FAX 0854-82-9732

凡例

消防署・出張所	○
医療施設	+
警察署・駐在所	□
市役所	◎
学校	◐
1次緊急輸送道路	1
2次緊急輸送道路	2
3次緊急輸送道路	3
JR山陰本線	JR

緊急地震速報

緊急地震速報とは地震が発生したことをすぐやく検知し、地震の規模の推定及び伝送を瞬時に行うことにより、地震による強い揺れが到達するよりも早く、事前に大きな揺れが来るこをお知らせするものです。



震度階級表